

1953年 Dream 4E

ドリーム 4E 型

1953年に軽自動車二輪の排気量の上限が250ccに規定されたことから、このクラス用に新開発した「ドリーム 4E 型」。Honda 最大排気量の220ccエンジンを搭載しました。

ドリーム 3E 型をベースに、エンジンはボアを限界まで拡大したショートストローク仕様とし、燃焼効率を高めるために半球型の燃焼室を採用しました。最高出力は3E型が5.5PSだったのに対し、8.5PSまでアップ。出力の向上に対応するため、前後のタイヤ幅も拡大。ヘッドライトカバーや深い形状の前後フェンダーなどにより、重厚感のあるスタイリングとしました。

主要諸元

エンジン形式	4ストローク OHV 単気筒
排気量	220cc
最高出力	8PS/4700rpm
全長×全幅×全高(mm)	2,100×760×960
車両重量	142kg
点火方式	フライホイールマグネット
タンク容量	7.2L
タイヤサイズ	前後 19 インチ
フレーム形式	チャンネル型プレスフレーム